

流通経済大学 学報

RKU Today

AUTUMN/WINTER 2019



国際観光学科体験型授業
「プロジェクト学習」

流通経済大学

vol.38

04 授業レポート

文：高橋伸子(社会学部准教授)

国際観光学科体験型授業 「プロジェクト学習」

08 Close Up!

流通経済大学

[教職員紹介]

10 【OB/OG訪問】立川が聞く。

取材：立川和美(社会学部教授)

小林太一さん(1991年3月卒業・アサヒフードクリエイト株式会社統括料理長)

12 「感動をありがとう!」イベント開催レポート

ラグビー日本代表 中島イシレリ選手が
母校・流経大に凱旋!

13 いきいき茨城ゆめ国体

「サッカー成年男子」「ラグビー女子」で学生が活躍!
茨城県チームが全国制覇

14 FD活動

2019年度 新任教員のフォローアップ研修会開催

14 出版案内

流通経済大学出版会 刊行書籍のご案内

15 付属柏高等学校ニュース

都市開発が進む周辺地域・2019年度 部活動の主な活動

16

流通経済大学50周年記念事業募金にご協力いただいた皆様(7)

16

新任教職員紹介・永年勤続表彰

17

NEWS & TOPICS

2019年度春学期卒業式挙行/「第1回流通経済大学スピーチコンテスト」開催/スポーツコミュニケーション学科2年生
海浜実習実施/実践を通して学ぶ「障害児保育」「ふれ愛キャンプ」でイベント実施/龍ヶ崎キャンパス「つくばね祭〜笑
顔の祭典〜」開催/JICA派遣学生インドネシアでキックオフ!/藤田華恋さん スノーボードクロス優勝/小館充華さん 女
子ハンマー投げ優勝/「きょうがく学問カフェ」開催/「業界・企業セミナー」開催/松戸市生涯学習推進課・流通経済
大学連携講座開催/龍・流連携事業15周年記念 公開講座開催/NTT東日本サイトで本学の「大容量・高速ネット
ワーク」が紹介されました/(株)ディスコ主催セミナーで本学の「出席調査システム」が紹介されました/「武道館」建設中

巻頭言

RKU Today AUTUMN/WINTER 2019



肌寒い日は
暖かい部屋で
本を読んでみてはどうだろう。
ページをめくるやいなや
君はたちまち
別世界へと引き込まれていくはずだ。

「プロジェクト学習」

高橋伸子（社会学部准教授）



●はじめに

観光産業は政府の成長戦略に位置づけられ、観光立国としての発展が期待されています。また、日本を訪れる外国人旅行者数は2020年に4000万人を突破するといわれ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も、観光業界にとっては追い風となっています。

一方で、観光の発展とともに課題も多く、現場は日々変化し続けています。このような観光を取り巻く状況や地域社会を知るために社会学部国際観光学科では、体験型授業「プロジェクト学習」を2017年度から開講しました。

実際の現場に出かけて「見て、聴いて、知る」ことを目的に、複数のプログラムを用意しています。



2019年度のプログラム

- 1 ブライダルの仕事と現場 -GWAを通して-
- 2 観光PR動画制作とプレゼンテーション -松戸市学生サポーター養成講座-
- 3 都市型ワイナリー探訪
- 4 先輩の話を聴き隊 -ランチで知る仕事と社会-
- 5 「海外卒業旅行企画コンテスト2019」にチャレンジ
- 6 ツアープランナー体験 -旅行ツアーを企画する-
- 7 飯能市の観光の人気の理由を分析する
- 8 江戸文化を観光の魅力にした川越の成功例を研究
- 9 東京観光ツアーの企画と実施 -南オレゴン大学生を英語で案内-
- 10 龍ヶ崎の菓子文化に関するインタビュー調査

1.ブライダルの仕事と現場 -GWAを通して-

現代のウェディング事情を現場で学び、人生の一大イベントに臨む顧客の要望を具現化する過程を探るのが、このプロジェクトの目的です。リクルートブライダル総研主催の「GWA(Good Wedding Award:結婚式プランのコンテスト)」に出席し、プロによる本気のプレゼンテーションを見ます。そうした経験を基に、自分たちのウェディングプランを作成し、プレゼンテーション力も磨くのが当プロジェクトの概要です。

GWAは、この1年間の実際のブライダルプランニングを発表する大会です。新郎新婦のリクエストに応えるだけでなく、直接的には表われない気持ちにまで寄りそうプランニングとは何かを学びました。ウェディングプランナーの仕事の難しさや、やりがいを知るとともに、自分自身の大学生活そのものを見直すきっかけになったという感想も聞られました。

[学生の感想]

- 相手のことを考え、感じ取り、その人が心に秘めている思いまで汲み取ること。そして、仕事場の人と共有・協力し合いながら一つのことを作り上げることの大切さに気づきました。(2年女子)
- ブライダル業界に限らず、社会人として仕事とどのように向き合っていくか。真摯に向き合い、楽しむことが大切だということを学びました。(3年男子)
- 大学にいる間にいろいろな業界にもっと足を踏み入れてみて、新しい発見や価値観を見つけていきたいです。(3年女子)

2019年度は、外部講師からウェディングの基本的知識や過去のGWA優秀賞の解説を聴き、ウェディングプランナーの仕事について学びました。その後、流山市にあるハウスウェディング施設「BARN&FOREST」を訪問。プランナーの方から実際の仕事の中身を聴くことができました。

結婚情報誌を発行する企業を訪問した際にはブライダルプランを考えるグループワークを経験しました。座学で得た知識と実際に見学した経験を基に、自分たちのウェディングプランを提案し発表しました。



GWA2019の見学



ハウスウェディング施設にて



ブライダルプラン発表



ハウスウェディング施設にて



GWA2019の見学

●プロジェクト学習とは？

「プロジェクト学習」では、学生がチームを組み、自分たちで課題を見いだし解決していく学習方法をとっています。双方向型の授業方法である「アクティブラーニング」や「PBL」(Problem-based Learning)が与えられる課題解決型授業といえます。学生が現場を訪問したり、実際に働いている方から話を聞いたりして、様々な知見を得て課題を発見し、解決方法を探ります。そのような経験は「プロジェクト学習」で完結するのではなく、学生自身が日々の授業に落とし込み、さらに深い学びに繋げることが重要であると考えています。

3.都市型ワイナリー探訪

現在日本には約300のワイナリーがあり、都市部には「街中ワイナリー」が増え始めています。このようなワイナリーは、ワインを飲みに来る人、醸造を手伝いに来る人など、新たな集いの場となっています。都市部での酒造ツーリズムや体験型ツーリズムの可能性を探ることが当プロジェクトの目的です。

2018年度・2019年度ともに、ワイナリーの基本的知識を得るために、栃木県足利市の「ココ・ファーム」を訪問しました。ワインの醸造所を見学し担当者から説明を受けました。

さらに、2018年度は「東京ワイナリー（東京都練馬区）」「深川ワイナリー（東京都江東区）」「フジマル醸造所（東京都江東区）」の3か所を訪問し、2019年度は「深川ワイナリー」「フジマル醸造所」に加えて「横濱ワイナリー（神奈川県横浜市）」を訪問しました。

都市型のワイナリーは契約農家からぶどうを買い付け、それを醸造していますが、「東京ワイナリー」では、東京で生産されているぶどうも使用しています。また、鉄工所だった建物を改築した「フジマル醸造所」は、住宅街にひっそりと佇んでおり、学生から「ここがワイナリー？」という声も聞かれました。

学生たちは、「身近なところにも工夫やアイデアで新しい価値を見いだすことができる」ということに気づいたようです。

[学生の感想]

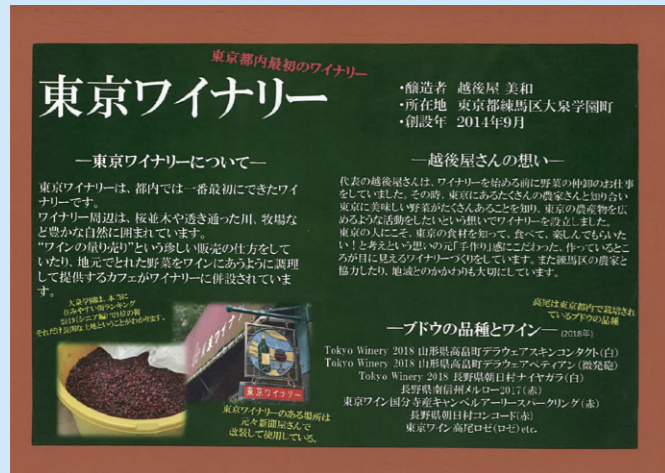
●ワイナリー訪問の前は、ワインは単なるお酒の一つという認識しかありませんでした。しかし、訪問先でワインの種類や歴史を学び、生産者の方の思いに触れ、その奥深さを感じました。また、ワインに合う地場産品を集めたカフェなど、地域活性化に活用する動きがあることを知りました。この経験を通じて、現場には机に向かって勉強するだけでは出会えない発見があるということを学びました。(3年男子)



ココ・ファームを訪問



ココ・ファームのぶどう畑の前で



学生が作ったワイナリー紹介POP



フジマル醸造所でテイスティング



深川ワイナリー入り口付近



深川ワイナリーのワイン

たなサービスや製品を生み出し観光関連産業の裾野を広げること。これも、観光系の学科の役割の一つであると考えます。現在の大学生はスマートフォンで様々な知識を得ることが出来ます。しかし、実際には限られた世界の中でしか物事を見ていません。実際に現場足を運び、知識を得ることはもちろんですが、五感で何かを感じてほしい。「知る」を楽しんでほしい。

この「プロジェクト学習」での経験から、自ら学び続ける人材に育ててほしいと切に願っています。

2.観光ガイドブックの制作とプレゼンテーション-松戸市学生サポーター養成講座-

松戸市の観光サポーター養成講座は、松戸市が2012年度より実施しており、学生に松戸市の観光振興への理解と松戸市への愛着を増進してもらうことが目的です。具体的には、松戸市の観光資源発掘調査や、それらの付加価値を高める工夫、旅行商品の制作等を実践的に学ぶものです。

2018年度のテーマは「訪日外国人観光客のためのガイドブックの作成」で、1年を通して活動しました。

当プロジェクトは、生活空間としての松戸市を観光の視点で見直すものです。学生はフィールドワークでしか経験できない貴重な体験を得ただけでなく、グループワークと発表を繰り返し行うことにより、プレゼンテーションのスキルも磨きました。

2019年度は、外国人観光客をターゲットとするPR動画の作成を最終目標に、現在も活動が続いています。



松戸南部市場入り口

観光ガイドブック



グループワーク



松戸南部市場



昭和の杜博物館

●プロジェクト学習を日々の学びへ繋げる

将来観光産業で活躍する人材の育成において、理論と実践の両面から学ぶことは重要です。本学科の学生には、このような学生時代の経験を生かして観光関連産業で活躍してほしいと願っています。

また、本学科の学生が観光と関わりのない企業や職種に就いても、実践を通して身につけた多面的に物事を見る力は、その後の社会人生で必ず役に立つでしょう。

卒業生が、観光に関する新



松戸神社



制作したガイドブックについて発表



[教育研究支援グループ 教育学習支援課]

大久保 稜
Ryo Ohkubo

人との出会いや
繋がりを大切に

本学のスポーツ健康科学部を卒業後、事務職員として入社し今年で4年が経ちます。入社当初から3年間学生生活課に在籍し、今年4月から教育学習支援課に配属になりました。学生時代は硬式野球部に4年間在籍していましたが、途中でくじげず目標に向かって努力できたのは、かけがえのない仲間がいたからです。卒業後も結婚や子供が生まれたといった近況報告を合っており、そのたびに一生の仲間に会えたことを財産だと感じています。事務職員になって仕事をしていく中でも、様々な出会いがあります。この仕事をしていなければ会うことはなかったかもしれないと思うと、今後もこの縁を大切にせずには、と思えます。

大学生の4年間は長いようであっという間です。この4年間に、同級生や先輩、後輩、教員、職員など様々な出会いがあると思います。「出会いで人生が変わるかもしれない。かけがえのない仲間ができるかもしれない」。学生には常にこの気持ちをもってほしいと思います。私自身もこの気持ちを忘れず、学生の大学生活をサポートし続けたいと思います。



[スポーツ健康科学部]

向山昌利 准教授
Masatoshi Mukoyama

スポーツを通じた社会貢献

2017年に新設されたスポーツコミュニケーション学科で、「スポーツと国際協力」「スポーツと地域開発」「スポーツプロモーション論」などを担当しています。

私は、2009年までラグビー選手として生活してきました。引退後にラグビーコーチとして活動しつつ、大学院に通い「スポーツを通じた国際協力」に関する研究を始めました。そこで得ることのできた知識と様々な幸運のおかげで、大学教員としての道が拓けました。

現在は、スポーツイベントが被災地に及ぼす影響に関心があり、岩手県釜石市で開催されたラグビーワールドカップを事例とした研究を継続しています。また、ラグビーを活用する「スポーツを通じた国際協力」プロジェクトに参加しながら、主にアジアの途上国の人々がより良い生活を送ることができる社会づくりも目指しています。

私は、「スポーツを通じた社会貢献」をキーワードに、研究者と実践者という2つの役割を両立させながら、そこで得られる発見を学生たちに楽しく伝えられる教員でありたいと思っています。



[法学部]

夏目 純 教授
Atsushi Natsume

嫌われてもいい、
連呼し続けます

学校を卒業して35年、雑誌・書籍の編集に携わってまいりました。

また10年前より他大学で「企画構想」というテーマのゼミと講義を受け持ち、活字に親しみ、語彙（ボキャブラリー）を豊富にすることで、イメージ喚起能力が磨かれ、いかに生活を味わい深くするかを、何度も唱えて学生に嫌われてまいりました。

そして、2019年4月より一層学生に「活字を読むことの大切さ」を伝道？するために、本学で「現代文章論」「日本文化論」と1年生の演習（ゼミ）の講義を受け持たせていただき、相も変わらず、「本を読め、本を読め」と連呼して嫌われております。

そんな折、大変嬉しいことが……。最近、卒業したゼミ生たちとお酒を飲む機会があり、それぞれ皆シッカリとした社会人に変貌しておりましたが、そんな中、一人の卒業生が「あれだけ先生が本を読めと言っていた意味がわかったような気がします。今、本を読むことが楽しくて」との一言。学生時代あまり出来が良くなかったように記憶していた彼女の口調は妙に大人びて聡明でした。

これぞまさに教師冥利。伝道は続きます。



[流通情報学部]

味水佑毅 准教授
Yuki Misui

ロジスティクス管理の
高度化を目指して

今年4月に流通情報学部に着任しました。専門はロジスティクスと交通経済学です。最近、ロジスティクスの管理手法や物流事業者の経営管理に関心をもって研究を行っています。

ロジスティクスの管理手法という、一般には物流サービス管理やシステム管理、輸配送管理や在庫管理といった管理手法がイメージされるのではないのでしょうか。

もちろん、これら事業活動に着目した管理により、より正確かつ確実なロジスティクスの実現を目指すことが必要であることはいうまでもありません。しかし、事業活動の結果は、数値というかたちで経営成績に反映されます。それゆえ、それらの数値、すなわち会計に着目した管理を併せて行うことで、ロジスティクス管理のさらなる高度化を実現できるのではないかと考えています。

今年度は、ゼミのほか、「ロジスティクス概論I・II」「キャリア特講（基礎）」「観光政策論」を担当しています。

ゼミや講義を通じて、学生の皆さんと一緒にロジスティクス管理について考えていきたいと思います。



[社会学部]

山崎良夫 准教授
Yoshio Yamazaki

「旅の力」ってすごい!

国際観光学科で「旅行産業論」「旅行サービス論」「旅行業務総論」、それと「旅行業務取扱管理者」という国家資格取得のための課外講座を担当しています。

旅行業に携わった経験から、「旅」が持つパワーの効果、効用を伝えていきたいと思っています。

色々な国や地域の自然、景観、歴史、伝統など新たな学びだけでなく、文化、生活、人との触れ合いを通じて、異文化への理解、優しさ、思いやり、人・地域との絆を深め人間形成の機会を与えてくれる「旅」。

非日常的な空間、体験をすることで新たな刺激、感動、癒しが体や心に活力を与えてくれる「旅」。

国際・地域間の相互理解、友好の促進を通じて平和な社会に貢献できる「旅」。

そんな「旅の力」を、多感で感受性の高い学生時代にできるだけ体験することは豊かな人間性を養う上で大きな糧となるでしょう。その経験は、社会に出たときにきっと役立ちます。金銭的な負担がかかるけど、それ以上の貴重な知識と経験を得ることができます。

さあ、Bon voyage!



[経済学部]

中原篤徳 教授
Atsunori Nakahara

みんな彫刻家かも
しれません

学生の皆さんとは美術史や造形表現の授業を通じ、丁寧な説明、コミュニケーションをとっていますが、そのつど、若く豊かな個性に驚かされ、次は何があるのか、どんなコメントが聞けるのか、私自身ワクワクしながら授業を行っています。

私の専門は人体の具象表現をテーマにした彫刻制作です。彫刻を作ることは1日や2日ではできず、数カ月、場合によっては数年かかることがある、なんとも長い仕事です。

具象彫刻は人間の外形だけでなく内面も含めて詳しく見詰め、生命感のあるものにしていくことが大テーマです。これはなかなか大変で悪戦苦闘、ときにはもう止めたい!と思いつつ、完成目指して粘土にまみれ制作を続け、何かしらの形がポコッと誕生します。

私は、学生の皆さんも実は「自分という彫刻」を作る彫刻家だと思っています。日々の学びや生活を通じ、悩みや喜び、苦しみ、楽しみを混ぜこぜにして、4年間なりの自分を作り上げていく彫刻家です。

学生の皆さんが、自分自身をどのような姿・形にしたいと願い、作り上げていくのか、しっかり見守り、支えていきたいと考えています。

「やりたいこと」を
たくさん経験した人間は、
「できること」の中に
「やりたいこと」を
見つけられる。

——小林さんは東洋大学付属牛久高校から本学に進学されたとのことですが。

高校まではずっと野球をやっておりまして、大学進学について真剣に考えたのは高校3年生になってからと遅かったのですが、自宅が柏にあったこともあり、流通経済大学への進学を決めました。

——大学でも野球を続けられたのですか？

硬式野球部はとても強かったので、自分の力では難しいと考えました。そこで軟式野球同好会に入部し、3年生の時にはキャプテンを務めました。毎年夏に車を数台連ねて当時あった湯の丸セミナーハウスに合宿に行ったのは、とても楽しい思い出です。

ときに比べて安らぐ部分もありましたね。それにオーナーシェフも自分を一人前にしたいとの思いで育ててくださっていることが伝わってきましたからやりがいを感じていました。

——そこで修業を重ねられたのですね。

住み込みで2年半、その後アパートを借りて自立し、合計5年くらい勤めました。白馬ではフレンチのシェフについていたのですが、イタリア料理の気軽に楽しめる魅力や陽気な文化に興味をもち、イタリア料理をしっかりと学びたいと考えるようになっていました。

ちょうどそのころ結婚をしたのですが、子供ができる前にどうしても研鑽を積みたいと妻に無理を言って、ICIFという機関を通じてイタリアのピエモンテ州に研修に出ました。

最初はトリノ、その後トスカナのトラットリアで修業しました。今でこそ、ベスカトーレ、カルボナーラなど、誰もが知っていますが、その頃の日本では「名前は知っているけれど実物を見たことがない」というような料理でしたので、どうしても本物を自分の目で

OB/OG訪問

立川が聞く。

今回は本学経済学部を1991年にご卒業され、アサヒフードクリエイト株式会社で統括料理長としてお勤め的小林太一さんにお話を伺いました。

第23期生
(1991年3月 経済学部 経営学科卒業)

小林太一さん

Taichi Kobayashi

〈取材〉
立川和美 (社会学部教授)



——現在はイタリアンシェフとして活躍ですが、学生の時から料理の道を志されていたのですか？

いえいえ、実は全くそうではないんですよ。私はサラリーマンの家庭に育ったのですが、父を見ていて、「自分は自由業のほうが向いているのではないか」といったことを考えていた程度でした。ただ、自然が大好きで田舎暮らしには憧れていました。大学時代はガソリンスタンド、イベントのお手伝い、スーパールのレジなど様々なアルバイトを経験しましたが、中でも大学3年生の夏に白馬村のペンションで1カ月働いたことは、自分の夢に近い経験だったと感じています。

——では卒業後は一般の企業に

見たいと思っただけです。現地ではイタリア語にも苦労しましたが、1年間、日本人が全くない環境で料理を学べたことは本当に良かったと思います。

——帰国後は、東京でシェフとして活躍されるようになったわけですね。

それが、実はそうでもないんです。「イタリア帰り」とはいいっても、私は調理師になるための専門教育を受けていませんので、むしろ高校を卒業してすぐに料理学校で学んだ年下の料理人たちのほうが、私よりも料理の技術は上ですね(苦笑)。いやな思いも随分しました。それが悔しくて一生懸命勉強し、調理師免許を取得して、現在のアサヒレストランサービスに入社しました。

——現在は、統括料理長でいらっしやいますね。

いろいろな雑事もありますが、今の役職に就いて「自分のやりたいことができる」という実感がありません。料理人は本来職人でするので、「自分の表現ができること」が何より嬉しいんですね。もちろん上に立つものとして責任は伴いますが、シェフとして働く楽しさも、いっそう強く感じられるよう

就職されたのですか？

はい。当時、ログハウスビルディングに興味を持っていて、住宅会社に就職しました。配属は営業職で、パブル景気真つただ中でしたので、朝早くから夜遅くまで働き詰めでしたが、給料はともよかったですね。ただ就職して2年目ごろから、「これは自分の描いていた夢と違うんじゃないか」といった気持ちを抱くようになっていきました。そんな時、学生時代にアルバイトをした白馬村のペンションのオーナーから「近くにフレンチレストランができるので、そちらで働いてみないか」という誘いが来たんです。

——それで会社を辞めて、白馬にいらしたのですか？

そうなんです。包丁の扱いも知らない素人だったのですが、「新しいことにチャレンジしたい」という一心で働き始めました。地下室の隅にベッドを置いて寝起きさせてもらい、料理の仕事ができずに叱られ、寝坊をして遅刻をしては叱られといった毎日だったのですが(笑)、東京で仕事をしている

になりましたね。

——では最後に本学の学生に一言お願いいたします。

大学在学中は人生の中で一番自分の時間が取れる時ですので、興味のあることに積極的に取り組んでください。「人はやったことに後悔するのではなく、やらなかったことに後悔する」。

私自身もそうでしたが、まだ「将来の目標」や「自分のやりたいこと」が見つからないと悩んでいる人が多いと思いますが、「これは」と感じられるものがあつたら、ともかくやってみる。そうしてできるだけ多くの経験をしたいければ、自分の「やりたいこと」はきつと見えてきます。

もう一つは、社会に出て、そうした「やりたいこと」が自分の仕事になるには限らないということです。社会人は、自分の「できること」を仕事にしているのです。「やりたいこと」と「できること」が一致すればとても幸せですが、そうでなくても、「やりたいこと」をたくさん経験してきた人間は、「できること」の中に「やりたいこと」を見つかることができるのではないかと考えています。



Wonderful
Life Stories
with
Dr. Kazumi
Tachikawa



アサヒグループ本社ビルの22階にある大変跳めの良いイタリアンレストランでお話を伺いました。山登りやキャンプがお好きという小林さんは、ユーモアを交えながらご自身の経験をエネルギッシュに語ってくださり、とても楽しいインタビューとなりました。

本学の男子サッカー部・女子ラグビー部の学生が大活躍! いきいき茨城ゆめ国体「サッカー成年男子」「ラグビー女子」で 茨城県チームが全国制覇

9月28日から10月8日にわたり熱戦を繰り広げた令和初の国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」。「サッカー成年男子」は本学のサッカー部員を軸にチームが編成され、茨城県が23年ぶりに全国制覇! 「ラグビー女子」でも本学の女子ラグビー部員が大活躍し、茨城県が悲願の初優勝を果たしました。

サッカー



優勝した茨城県サッカー成年男子チーム



決勝戦は連覇を狙う福井県と対戦



GK高井選手が決勝のPK戦で見事なブロック



中野監督、田中コーチとともに学長に優勝報告

選手コメント

高井悠貴さん 自治行政学科4年

茨城県開催の国体で優勝でき、大変嬉しく思います。多くのご声援、ご支援のおかげで優勝することができました。

石川颯海さん ビジネス法学科4年

各選手の想いが、優勝を勝ち取った要因だと思います。大学生活最後の年に有終の美を飾ることができました。

ラグビー



延長4分、優勝のトライを決めた内海選手



予選、三重県との対戦



井上監督（一番左）とともに学長に優勝報告

選手コメント

内海春菜子さん スポーツ健康科学科2年

茨城県の代表として出場し、優勝できたことを大変嬉しく思います。予選から厳しい試合が続きましたが、チーム一丸となり最後まで戦い抜くことができました。また、たくさんの応援が私たち選手の大きな力となりました。ありがとうございました。

私たちのシーズンはまだまだ続いています。ラグビーワールドカップや茨城国体と同じくらい、皆様に感動を与えられるようなラグビーをしたいと思います。GRACEの応援をよろしくお願いいたします!



女子ラグビー部「GRACE」facebook

ラグビー日本代表 中島イシレリ選手が 母校・流経大に凱旋!

中島イシレリ選手
プロフィール
出身：トンガ
年齢：30歳
現所属：神戸製鋼コベルコスティーラーズ
大学：流通経済大学
身長：186cm
体重：120kg
ポジション：プロップ、ナンバーエイト



熱戦が繰り広げられた「ラグビーワールドカップ2019大会」。アジア初の開催でホスト国となった日本チームが悲願のベスト8入りを果たし、桜の戦士たちの勇姿と各国チームの素晴らしい試合に日本中が興奮と感動に包まれました。その余韻が覚めやらぬ中、11月12日、日本代表チームのメンバーとして活躍した本学OBの中島イシレリ選手が、龍ヶ崎キャンパスに凱旋し、「感動をありがとう!」のイベントが開催されました。

大会後も笑顔とサービス精神たっぷりでメディアに引っぱりだこのイシレリ選手。室外会場にはラグビー部員のほか多くの学生や教職員が集いました。

本学ラグビー部の北村直大さん(スポーツ健康科学科4年)が進行役を務める中、ラグビー部副部長の藤田教授とキャプテンの積賢佑さん(スポーツ健康科学科4年)から花束が、校友会から感謝状と目録が、そして内山監督からは額入りの公式ユニフォームが贈

られました。また、イシレリ選手は甘いものが大好きとのことで、女子ラグビー部の中村楓さん(スポーツ健康科学科4年)からはケーキがプレゼントされました。

質問コーナーでは、今後の目標を問われ、少し考えてから「あした考えます」と笑いを誘い、好きな女性のタイプは「奥さん」と即答して爆笑。イシレリ選手のユニークなキャラクターが全開となりました。

最後は、トレードマークである「金髪」の元となった本学ラグビー部のゴールドのユニフォームに囲まれながら、イシレリ選手の口癖「Yeaboi(イヤボイ)」を合図に皆で記念撮影を行いました。



イシレリ選手に続いた! 強豪スコットランド戦で大塚さん逆転トライ!

ラグビー15人制女子日本代表(サクラフィフティーン)に選出された、本学スポーツコミュニケーション学科2年の大塚朱紗さん(右)と北野和子さん(左)。11月の欧州遠征におけるスコットランド戦で、大塚さんが終了間際に逆転トライ! イシレリ選手に続き歴史的勝利に貢献しました。



都市開発が進む本校周辺地域

本校は柏市の北西部、流山市と野田市に隣接する郊外に位置していたため、周辺の開発が遅れていましたが、2005年の首都圏新都市鉄道「つくばエクスプレス(TX線)」の開通を機に、東京大学、千葉大学、産学連携施設を中心とした文教地区が形成されました。県立公園や総合競技場などの公共施設も次々と整備され、今では筑波研究学園都市とはまた違った未来の学園都市の姿を現出しています。

また、柏の葉キャンパス駅を中心に、産官学連携によって「国際学術研究都市」を目指した街づくりが続けられてもおり、ショッピングモールやマンション開発なども活発化して、益々の発展が期待できる地域となりました。

一方、常磐高速道柏インターチェンジで交差する国道16号沿線には郊外型商業施設や物流倉庫などが建設され、本校新校舎(2号館)の裏手にも大規模な物流基地としての開発計画が進められています。近々、本校周辺には新たな道路や商業施設・公園・住宅地などが造成される予定です。

グローバル企業として物流業界をリードする日本通運株式会社が本学園の設立に関わったという経緯や、流通経済大学の教育理念の下に創設された本校であることを考えれば、今後はより一層国際的な視

点に立って、先進的で幅広いグローバル教育を展開し、確かな学力と見識を備えた人間性豊かな社会有為の人材育成に努めていかなければなりません。

今後も、流通経済大学との高大連携のさらなる強化を図り、私学独自の魅力溢れる教育活動を展開し、本校としての新たな時代の幕開けとなるよう教職員一丸となって取り組んでまいります。

校長 林 静男



柏の葉キャンパス駅周辺

2019年度 部活動の主な活躍



[サッカー部]プレミアリーグ1部(7位)・インターハイ県予選準優勝・全国高校選手権県予選準優勝



[女子サッカー部]県リーグ1部(2位)・春、夏、冬の県大会はいずれも準優勝し、春、冬は関東大会に出場



[チアリーディング部] 関東大会で好成績を収め、創部4年目で全国高校選手権(ジャパンカップ2019)に初出場



[ラグビー部]第99回全国高校ラグビーフットボール大会出場(25年連続27回目)・第6回7人制ラグビー全国大会出場(2年連続6回目)・すべての県大会で優勝・すべての関東大会に出場



[駅伝部] 全国高校駅伝県予選で男子3位、女子6位・男子女子共に関東大会出場・個人競技で数名がインターハイ、関東大会出場

[放送部] 第66回NHK杯全国放送コンテストラジオドキュメント部門で全国大会出場(4年連続10回目)

FD活動

FD (Faculty Development) 活動は、「教育の質向上」に向けた取り組みです。

「2019年度 新任教員のフォローアップ研修会」開催

9月17日、龍ヶ崎キャンパスアクティブラーニング室において、今年4月に着任された専任教員(教授、准教授、助教、教育学習支援センター所員)を対象とするFD委員会主催のフォローアップ研修会が開催されました。

着任後の1 semester を振り返り、今後どう取り組んでいけばよいか考える機会を提供することを目的として、グループワークによる研修およびそれを受けての意見交換を実施しました。

開会後、野尻俊明学長より研修に参加された教員に向けての挨拶がありました。続いて、本学社会学部学部長の中村美枝子教授がファシリテーターを務め「レゴブロックで春学期を振り返ろう!」というテーマのもと、4グループに分かれてのワークが行われました。

まず、自己紹介によるウォームアップ、絵合わせゲームによるアイスブレイクが行われ、その後、各グループのメンバーが春学期の授業を振り返り、思い思いにレゴブロックで表現し、その内容を発表し合いました。

思っていることをレゴブロックで表現することで、楽しくかつ効果的な研修となりました。授業を受ける学生の

レゴブロック研修のファシリテーターをされた中村美枝子教授コメント

レゴには人を没頭させる力があり、想いを視覚化する力があると私は思います。「レゴでグループワークって何するの?」と微妙な雰囲気が始まりましたが、大いに語り合ってくという目的は達成できたように思います。短い時間でしたが濃密な時間を共有できました。

立場も体験できたようです。

レゴブロックの研修後、学長を交えての意見交換が行われました。参加教員より、学生の主体性の引き出し方、多様なレベルの学生が混在する授業運営のあり方、授業を受けた学生の成績分布の状況など、自分の直面している課題などが色々出され、それらを共有することができました。

最後に、学長より入試の状況や学校運営を踏まえての対応の必要性が語られ、研修会を終了しました。

今回の研修会の結果も踏まえ、今後のFDとしての対応策も検討していきたいと考えています。

流通経済大学出版会 刊行書籍のご案内



『民法の流れ図 一総則- [新版]』

2020年4月1日から施行される改正民法に対応。民法の全体と部分を、流れ図と図解をもちいてわかりやすく解説。

中山秀登 著
B5判 並製 164頁
本体価格 1,600円+税



『前近代スペインのサンティアゴ巡礼 比較巡礼史序説』

巡礼と密接に関連する民衆信仰、シンクレティズム、観光、慈善をキーワードに前近代スペインのサンティアゴ巡礼を読み解く。

関哲行 著
四六判 並製 246頁
本体価格1,200円+税

2020年1月
刊行予定
『籠球五輪』
小谷 究 著
『自由の地域差』
福井一喜 著

NEWS & TOPICS

実践を通して学ぶ「障害児保育」
「ふれ愛キャンプ」でイベント実施

4

保育士になるための必修科目「障害児保育」では、障害のあるお子さんや、「気になる子」といわれる特別な支援を必要とする子どもの保育について、講義・演習・体験実習を通して学んでいます。

今年8月には、体験実習の一つとして、社会学科の学生が龍ヶ崎市社会福祉協議会主催の「ふれ愛キャンプ」に参加し、障害のある子もいない子も一緒に楽しめるイベントを実施しました。



2019年度春学期卒業式挙

1

9月28日、龍ヶ崎キャンパスにおいて春学期卒業式がとり行われました。恩師や家族の見守る中、学長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。



「第1回 流通経済大学
スピーチコンテスト」開催

2

7月11日、本学の国際交流センターが主催する「第1回 流通経済大学スピーチコンテスト」が新松戸キャンパスICP(International Community Plaza)で開催されました。

事前選考を通過した英語スピーチ部門6名、留学生日本語スピーチ部門5名の学生が「私の伝えたいこと」をテーマに自らの想いを精一杯表現し、コンテストは盛会となりました。



英語スピーチ最優秀賞 木村 陽さん 国際観光学科1年(左)
日本語スピーチ最優秀賞 ナワラタナ スブンさん ビジネス法学科3年(右)

龍ヶ崎キャンパス
「つくばね祭～笑顔の祭典～」開催

5

10月26日・27日の2日間、龍ヶ崎キャンパスで「第54回つくばね祭」が開催されました。準備日にあたる前日25日は猛烈な雨に見舞われましたが、つくばね祭実行委員会と協力団体の素晴らしい連携で、開催当日の朝には今年のテーマ「笑顔の祭典」の会場が完成しました。

お笑いライブでの笑顔。模擬店の美味しさに思わず出た笑顔。アーティストと一緒に歌う感激の笑顔。仲間と上がったステージでの弾ける笑顔。日ごろの成果を出し切った瞬間の笑顔。文字通り「笑顔の祭典」となりました。

〈第54回つくばね祭実行委員長のコメント 五月女友哉さん 自治行政学科3年〉
つくばね祭にご来場いただいた皆様、各地から足を運んでいただき誠にありがとうございました。今年度は、恒例のアーティストLIVE、お笑いLIVEに加え、カラオケ大会や大食い大会、龍ヶ崎市市民活動センターの方々による催し物など、新しい試みも多く不安も大きかったのですが、無事2日間完走することができました。委員長としての未熟さを実感することもありましたが、後輩たちには今回の反省を生かし、次回より良い学園祭を開催してくれることを期待しています。つくばね祭に関わってくださったすべての方々へ厚く御礼申し上げます。



スポーツコミュニケーション学科
2年生 海浜実習実施

3

11月10日～13日にかけて、沖縄県・慶良間諸島(国立公園)の渡嘉敷島「国立沖縄青少年交流の家」において、スポーツコミュニケーション学科2年生を対象に「海浜実習」が実施されました。



流通経済大学 50周年記念事業募金に ご協力いただいた皆様(7)

(令和元年6月1日～11月30日までのご入金分を掲載)

前号に続き、流通経済大学創立50周年記念事業募金にご協力いただきました皆様のご芳名を掲載させていただきます。ご寄付金は有意義に使用させていただきます。ご芳名は永久に銘記させていただきます。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

令和元年12月 流通経済大学創立50周年記念事業募金室
※掲載はご許可いただいた方のみです(敬称略)。

在校生(保護者含む)
1万円
宮下意大
宮下資大
卒業生
ご芳名のみの方
渡辺和正

新任職員紹介

本学に新たに赴任した職員を紹介します。

西野正記 入試センター入試課

吉田正樹 経理部経理課

永年勤続表彰

11月5日、龍ヶ崎キャンパスにおいて、本学に30年にわたって貢献してきた教職員に、永年勤続の表彰がされました。今年表彰されたのは以下の4名です。

(左から)永井要子 教務課長/大橋純一 社会学部教授/野尻俊明 理事長・学長/中澤 聡 経理部長



NTT東日本サイトで本学の
「大容量・高速ネットワーク」が紹介されました

13

本学では、日々の教育研究活動や快適なキャンパスライフを支える「大容量かつ高速なネットワーク環境」を実現しています。構築に協力いただいたNTT東日本のホームページに、本学のシステムの趣旨や構築の経緯などが紹介されました。

▶ <https://business.ntt-east.co.jp/case/2019/n011/>

(株)ディスコ主催セミナーで
本学の「出席調査システム」が紹介されました

14

7月8日、全国の教務職員を対象とした(株)ディスコ主催のセミナーにおいて、出席調査システム「C-Learning」の導入事例として本学の取り組みが紹介されました。このシステムとWifi環境により、毎回の授業で出席調査が行われ、広く学習指導や学生生活指導に役立てられています。



「武道館」建設中

15

現在、龍ヶ崎キャンパスでは、旧体育館の解体跡地に「武道館」を建設中です。2020年3月末に完成予定のこの施設には、柔道場と剣道場が設置され、体育の授業や部活動等で広く活用される予定です。



完成予想図

【編集後記】

●今年も台風や火災など全国各地で多くの災害に見舞われた。災害が起こるたびに人間の無力さとか何か準備ができていなかったのかという後悔を感じる。被害に遭われた方々が少しでも早く安心できる生活を取り戻されることを願うばかりである。
●そのような中、今秋ラグビーワールドカップで日本チームが初のベスト8入りを果たし、私たちは誇りと自信をもちあふることができた。日本開催が決定した時には喜びと同時に不安もあったが、実際には想像を遥かに超える盛り上がりで、「最も偉大なワールドカップとして記憶に残る」と評される大会となった。

松戸市生涯学習推進課・
流通経済大学連携講座開催

11

松戸市生涯学習推進課・流通経済大学連携講座「更級日記の世界-上総国(千葉県市原市)から上洛千年紀-」が全3回にわたって新松戸キャンパスで開催されました。第1回の10月26日は、「更級日記への誘い」をテーマに本学経済学部の高橋由記准教授が講演し、第3回の11月16日は、「物語作家への道-やっぱり私は物語が好き-」をテーマに本学法学部の和田律子教授が講演しました。



龍・流連携事業15周年記念
公開講座開催

12

教育・文化、スポーツ、産業、人づくり・街づくり等の分野で、本学と龍ヶ崎市は様々な連携事業を展開しています。今年も連携協定の締結から15年を迎えた記念事業として「メディアとスポーツ～視点を変えれば見えてくる!」と題して、龍ヶ崎キャンパスで公開講座を開催しました。

10月27日

【誰のための高校野球か～
「太田」から「吉田」、
そして「佐々木」へ～】

講師-スポーツ健康科学部
龍崎 孝 教授

11月12日

【メガスーツイベントを
どう伝えるか】

講師-TBSアナウンサー
藤森 祥平 氏

11月16日

【お天気と東京オリンピック】

講師-気象予報士・
フリーアナウンサー
尾崎 朋美 氏



「きょうがく学問カフェ」開催

9

教育学習支援センター主催「きょうがく学問カフェ」が、11月12日に龍ヶ崎キャンパスで、11月13日に新松戸キャンパスで実施されました。新松戸キャンパスの参加者は、後日、実際の大学を見学し、学びを深めました。



【トップアスリートに学ぶ!
集中力UPの秘訣!】(龍ヶ崎キャンパス)
スポーツ健康科学部の生方先生を講師に迎え、集中力を高める方法について学びました。トップアスリートが実践しているメンタルトレーニング方法の話は、大変盛り上がりました。



【意外と知らない! 大嘗祭の
基礎知識】(新松戸キャンパス)
大東文化大学の草山先生をお招きし、ミニ講義を実施。大嘗祭の名前は知っているけれど、深くは知らない...という学生がほとんどでしたが、大変わかりやすく教えていただき、関心を深めていました。



「業界・企業セミナー」開催

10

就職支援センターでは、3年生を対象とした「業界・企業セミナー」を開催しました。日通グループ企業や学生に人気のある企業・団体の人事ご担当者様を本学にお招きして、最新の業界動向・企業動向について説明をいただきました。

【第1回】10月29日(龍ヶ崎キャンパス)
参加企業-常陽銀行(金融)、清水建設(建設)、
日通商事(商社)、日本通運(物流)

【第2回】10月30日(龍ヶ崎キャンパス)
参加企業-コスモスペース(放送)、
ドームユニテッド(小売・スポーツ用品)、三協フロンティア(建設)、
RIZAP(サービス)、龍ヶ崎市役所(公務員)

【第3回】11月7日(新松戸キャンパス)
参加企業-日本通運(物流)、日通商事(商社)、
日通旅行(旅行)、日通情報システム(情報通信)



JICA派遣学生
インドネシアでキックオフ!

6

今年2月のラグビー部男子学生に続き、女子ラグビー部の4名が青年海外協力隊員としてインドネシアに派遣されました。8月3日から約1か月間、インドネシア全土で数多くの学校施設などを訪れ、現地の人達と触れ合いながらラグビーの普及活動を行いました。



藤田華恋さん
スノーボードクロス優勝

7

チリのコラルコ(Corralco)で現地時間の9月10日・11日に開催された、「South American Cup (スノーボード競技)女子スノーボードクロス」において、本学の藤田華恋さん(スポーツ健康科学科1年)が、両日ともに優勝を果たしました。



小館充華さん
女子ハンマー投げ優勝

8

岐阜メモリアルセンター長良川競技場で9月12日・15日に開催された、「天皇賜盃 第88回日本学生陸上競技対校選手権大会女子ハンマー投げ」において、本学の小館充華さん(スポーツ健康科学科3年)が、61m68の記録で優勝を果たしました。





2020年度入試日程

経済学部	経済学科・経営学科
流通情報学部	流通情報学科
法学部	ビジネス法学科・自治行政学科
社会学部	社会学科・国際観光学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科・ スポーツコミュニケーション学科

入試種別	期	出願期間	出願書類提出期限	試験日	合格発表	試験場		
奨学生選抜	3科目型	I	~1/22 水	1/23 木	2/1 土	2/7 金	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・郡山・新潟・水戸・宇都宮	
		II	12/2 月 ~ 2/5 水	2/6 木	2/14 金	2/20 木	龍ヶ崎・新松戸・東京・盛岡・水戸・静岡・岡山	
		III	~2/17 月	2/18 火	2/26 水	3/4 水	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・水戸・高崎・静岡	
	センター試験利用型	I	12/2 月	~1/30 木	1/31 金	個別試験は実施しない	2/14 金	---
		II		~2/20 木	2/21 金		3/5 木	
	一般	3科目型 2科目型	I	~1/22 水	1/23 木	2/1 土	2/7 金	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・郡山・新潟・水戸・宇都宮
II			12/2 月 ~ 2/5 水	2/6 木	2/14 金	2/20 木	龍ヶ崎・新松戸・東京・盛岡・水戸・静岡・岡山	
III			~2/17 月	2/18 火	2/26 水	3/4 水	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・水戸・高崎・静岡	
得意科目型 (1科目受験可)		I	12/2 月	~1/22 水	1/23 木	2/2 日	2/7 金	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・郡山・新潟・水戸・宇都宮
		II		~ 2/5 水	2/6 木	2/15 土	2/20 木	龍ヶ崎・新松戸・東京・盛岡・水戸・静岡・岡山
		III		~ 3/2 月	3/3 火	3/11 水	3/16 月	龍ヶ崎・新松戸・東京・水戸
センター	3科目型 高得点2科目型	I	12/2 月	~1/30 木	1/31 金	個別試験は実施しない	2/14 金	---
		II		~2/20 木	2/21 金		3/5 木	

得意科目型(1科目受験可)とは

国語、外国語、数学から、それぞれ大設問を2問ずつ(合計6問)出題。そのうち2問を自由に選択できるので、得意科目で受験できます。

科目選択の例	国語が得意! 数学が得意!	得意な1科目で受験できます。	国語①と国語②で受験	国語①	国語②	外国語①	外国語②	数学①	数学②
			数学①と数学②で受験	国語①	国語②	外国語①	外国語②	数学①	数学②
	数学が苦手!	数学以外の2科目でも受験できます。	国語①と外国語②で受験	国語①	国語②	外国語①	外国語②	数学①	数学②

入試センター ☎ 0120-297-141 ✉ ees@rku.ac.jp



学報 RKU Today vol.38 2019年12月発行
編集・発行 / 学校法人日通学園 流通経済大学 企画広報室
茨城県龍ヶ崎市120 〒301-8555 TEL:0297-64-0001(代表)

